

授業改善推進プラン(音楽・図工・体育書式)

教科(音楽)

令和5年度授業改善推進プランの評価

- [低学年] 身体表現やリズム遊びなど、多様な活動を通じて、音楽に親しむことができた。2, 3名の少人数でのグループ活動を通し、友達と関わり合って学習することができた。
- [中学年] 全領域の学習を通して、「比較する」「言葉や体の動きなどを表す」等の学習活動の工夫をすることで、友達の考え方に触れ、自分の考えをもつことができる児童が増えた。
- [高学年] 全領域を通して、見通し・振り返りを行う学習過程を考え、学習したことのつながりを明確にすることで理解を深めた。活動の見通しをもつことができる児童は増えた。

実態

- [低学年] 意欲をもって音楽活動に取り組むことはできる。拍子やリズムの違いなどの理解に課題がある児童もいる。また、注意の集中を持続することが困難な児童もいる。
- [中学年] 常時活動の定着はしている。聴き取ったこと、感じ取ったことなどを書いたり話したりして伝え合うこと、音楽を形づくっている要素の聴き取りが難しい。
- [高学年] 音の重なりを感じて演奏することはできるが、知識・理解の既習事項の定着が浅い。曲の特徴にふさわしい表現を工夫したり曲想と音楽の構造との関わりについて理解したりすることが課題。

指導上の課題

- ① 持ち物や姿勢、楽器の扱い方など、授業でのルールを定着させ、活動に集中できる環境を整える。
- ② 課題意識をもち、学びを最後までつなげていくための工夫。
- ③ 考え方や感じ方を広げて深める学習活動の充実。

令和6年度の具体的授業改善

低学年	中学年	高学年
① 持ち物、姿勢、楽器の使い方などを具体的に指導し、良いときの評価をしながら定着させる。 ② 身体表現、リズム遊びやリズム打ちなど多様な活動を通じて、楽しみながら音楽に親しめるようにする。 ③ 友達と学び合う楽しさを体験できるよう、まねっこ遊びや聴き合う活動の仕方を工夫する。	① 一時間の授業の見通しをもって活動に取り組めるよう、学習のめあてを明確に示す。 ② 音楽を形づくっている要素の聴き取り及び着目しやすくなるよう、要素の表れ方を視覚化、動作化するなどの配慮をする。 ③ 他者の考え方に触れる学習活動をするための学習形態や交流の仕方を工夫する。	① 題材の目標に向かうため、学習内容の見通しをもたせて授業展開を工夫する。 ② 多くの声部が並行している楽譜など、注目する箇所がわかるよう、拡大楽譜やカードなどを用いて視覚的に情報を整理する。 ③ 聴き取り感じ取ったことを交流するための言語活動を工夫する。